

HP またはオプトアウト用揭示

研究課題名 (倫理委員会受付番号)	腹腔鏡下胆嚢摘出術における手術時間遅延因子の検討
当院の研究責任者	外科 産本陽平
代表研究機関 代表研究者	
研究の目的	内視鏡外科手術は、患者負担の軽減や、優れた整容性などの利点から広く適応を獲得している。加えて施行頻度の多い術式では、手技の定型化が進み、より安全かつ短時間で手術が遂行できるように工夫がなされている。 一方で定型手術においても手術時間には大きな変動があり、患者因子、術者・助手因子が複合的に関与しているものと考えられる。今回、定型化された内視鏡外科手術の代表である腹腔鏡下胆嚢摘出術における、手術時間遅延に関連する因子を明らかにする。
調査データ該当期間	2018 年 1 月 1 日～2023 年 12 月 31 日
研究の方法 (使用する試料等)	上記の調査データ該当期間に当院で腹腔鏡下胆嚢摘出術を受けた患者対象とし、診療録をもとに、以下の項目について抽出し検討します。 ただし緊急手術の症例、悪性腫瘍に対する手術例は除外する。 調査項目：年齢、性別、身長、体重、BMI、胆嚢炎の加療歴、腹部手術歴の有無、服薬歴、術者・助手の卒後年数、指導助手の専門資格の有無、手術時間、術中出血量、術中・術後合併症、術後在院日数、死亡率 統計解析を行い、その結果は学術集会での発表、医学雑誌に掲載します。
試料/情報の他の研究機関への提供及び提供方法	他の研究機関への提供はいたしません。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所、受診日等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除します。また、患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話：0242-27-5511 研究責任者：産本陽平
備考	本試験の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合は、上記の問い合わせ先にお問い合わせください。なお、協力いただかない場合でも患者様に不利益は一切ございません。